

第2回議会報告会質疑応答記録（概要）

平成24年4月24日（火）午後1時30分～ 大門（市民交流センター）

意見交換会

Q 市民

- ・3月議会を傍聴したが、全ての議案が全員一致で通ったことに疑問を感じた。修正や反対があるべきと思うが、それが無いというのは議会制民主主義が機能しているのか。
- ・中村努議員（議会運営委員長）、金子議員（議会基本条例推進委員長）に指名して質問したい。

A 金子議員

- ・多くの議案は常任委員会で審議されるしくみであり、今3月議会はなかったが、過去においては意見が割れたこともあった。今回、常任監査委員の条例が継続審査となったが、条例案件が継続審査となったのは40年ぶりのことだ。

A 永田議長

- ・塩尻市議会は他市と比べて異論がよく出され議論がされている方だと思う。

Q 市民

- ・昔の話を聞きたいのではなく、今の議会が全員一致で全部通って行くというのがおかしいと言っている。議員の皆さんの公約にもある通りの「熟議」を重ねたいいい議会、白熱した議論の出来る議会にしてほしいということ。それから、請願や陳情について「処理」という言葉遣いをしているが、これは市民に対して失礼な言葉づかいではないか。また、「検討します」とか「研究する」という答弁がその後どうなったのかきちんとフォローしてほしい。いずれにしても、議会は行政の監視機能をもっと発揮してもらいたいと言いたい。

Q 市民

- ・高出の子育て中の母親として、安心安全なまちづくりをもっと望んでいるが、通学路に歩道がなかったり、子供が安心して遊べる公園がなかったり不満を感じている。

A 牧野議員

- ・地元の十分な協力を得られない中では理想の区画整理が出来なかったことがあるのは事実だ。

A 横沢議員

- ・思いはよく理解できるが、高出にすぐに大きな公園をつくれるかという現実には難しい。小坂田や北部公園などの利用をお願いする。将来大きな開発があるときには新たな公園の設置についても可能性が出てくる。

Q 市民

- ・選挙の投票時間が夜8時まで延長されるなど費用をかけてやっている割には投票率の低落傾向は止まらない。投票時間の見直しをすべきと思う。

A 永田議長

- ・夜8時までが浸透している中では費用と効果の妥協点は今後よく見極めたい。

A 五味議員

- ・個人的には経費の削減が出来ればと思っている。

Q 市民

- ・24年度一般会計予算は252億円と前年から8億円のマイナスで全体では縮小予算なのに、経常経費の削減に努めますと言いながら32億円から38億円に増えている。一方、投資的経費は前年の40億円から19億円に減っている。

A 永田議長

- ・24年度予算全体では大型の公共事業がなくなったことが主な原因で減少となったが、扶助費は1億円増、国保会計への繰入は6億円と増加しており、来年度以降は少しずつ増加して行くと思う。経常経費については総枠を5%カットするなど経費の節減には取り組んでいる。

Q 市民

- ・政務調査費については従来の視察だけでなく、どういう目的で使われたのか、塩尻市政にどう反映されたのかなどより具体的な報告書の形で市民に知らせる工夫をしてもらいたい。市のホームページに公開するならそんなにお金もかけずに出来るのではないか。

A 永田議長

- ・いい提言をいただいたので議会基本条例推進委員会などで研究し実現してゆく。

Q 市民

- ・舗装されていない道路が長い間放置されている理由が分からない。

A 金田副議長

- ・道路の舗装については区長要望という形で各地区から優先順位をつけて上げて頂いている。古くから要望が上がっていても未舗装のものもある実態だ。地権者の反対がある場合はなかなか難しい。

Q 市民

- ・同じ市内なのに区がまたがっている道路の半分が治っていて半分はそのままというような状況があるのは理解できない。

A 牧野議員

- ・区総会等地元の声を大にして色々な機会に訴えて欲しい。議会としても実情をしっかりと把握して善処したい。